

館 山

平和学ぶ拠点 30万人に

戦争遺跡の 赤山地下壕 17人のツアー客代表に記念品

館山市の戦争遺跡「館山海軍航空隊赤山地下壕（こし）跡」の入壕者数が30万人を達成した。30万人目はツアー客17人。約1・6きの大規模な防

17日午前、現地で記念セレモニーがあり、代表者に記念品が手渡された。赤山地下壕跡は総延長1・6きの大規模な防

空壕で、館山を代表する戦争のひとつ。平成16年度に遺跡として開壕し、戦後70年と

なる27年度を契機に注



30万人目となったツアー客ら＝館山の赤山地下壕跡で

目を集め、入壕者が大幅に増加。新聞やテレビで数多く紹介されたことで知名度アップにつながり、29年度には入壕者数3万8248人を記録し、過去最多を更新した。

30万人目となったのは「こし」の地区クラブ平和を伝える会」のツアー客ら。ガイドの案内で壕内を歩いた後、記念セレモニーが開かれた。

セレモニーでは同市の出山裕之教育長やNPO法人安房文化遺産フォーラムの愛沢伸雄代表らが祝福し、記念品としてクリアファイルを手渡した。

愛沢代表は「30万人は通過点だが、地道な活動が少しずつ実ってきた成果。次の世代に文化財の魅力を伝えることで市の活性化につなげていきたい」と話した。